

令和2年度決算について

令和2年度決算が、令和3年5月25日開催の理事会で承認・確定されました。
以下、計算書類の内容の概要を説明します。(詳細については、学園ホームページをご覧ください。)

事業活動収支計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位：百万円)

	科目				前年決算 ^②	①－②
	予算	決算 ^①	差異			
教育活動収入	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	5,893	5,907	△ 14	5,779	129
	手数料	186	114	72	206	△ 92
	寄付金	127	235	△ 108	135	100
	経常費等補助金	744	772	△ 28	570	202
	付随事業収入	6	14	△ 7	56	△ 42
	雑収入	116	122	△ 6	56	66
	教育活動収入計	7,072	7,164	△ 92	6,802	362
	事業活動支出の部					
	人件費	3,992	3,809	183	3,772	37
教育研究経費	2,436	2,258	177	1,854	405	
管理経費	615	530	85	673	△ 143	
徴収不能額等	0	6	△ 6	9	△ 3	
教育活動支出計	7,043	6,603	440	6,307	296	
教育活動収支差額	28	560	△ 532	494	66	
教育活動外収入	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	5	5	△ 1	7	△ 2
	その他の教育活動外収入	4	3	1	3	0
	教育活動外収入計	8	8	0	10	△ 2
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額	8	8	0	10	△ 2
	経常収支差額	37	568	△ 532	504	64
特別収入	事業活動収入の部					
	資産売却差額	8	8	0	0	8
	その他の特別収入	23	126	△ 102	24	102
	特別収入計	32	134	△ 102	24	110
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	6	11	△ 5	56	△ 45
	その他の特別支出	0	2	△ 2	0	2
	特別支出計	6	13	△ 7	56	△ 43
	特別収支差額	26	121	△ 96	△ 32	153
	〔予備費〕	50		50		
基本金組入前 当年度収支差額	13	690	△ 677	473	217	
基本金組入額合計	△ 155	△ 222	68	△ 357	135	
当年度収支差額	△ 142	467	△ 610	116	352	
前年度繰越収支差額	△ 3,679	△ 3,679	0	△ 3,795	116	
基本金取崩額	0	0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 3,822	△ 3,212	△ 610	△ 3,679	467	

【令和2年度決算概要】

令和2年度は当初予算策定段階から「新型コロナウイルス禍」の多大な不安要素が顕在化し、財務収支面にも様々な対応を迫られることとなり、年度中間段階で下記のような大幅な予算補正を行いました。

- ① 全学生生徒(5,760名)に対する「修学支援金」支給 288百万円
- ② オンライン授業環境整備(Wi-Fi/ネットワーク回線強化等) 64百万円
- ③ 設備投資・修繕繰延(外壁塗装等) △ 145百万円
- ④ 人件費・経費削減策(期末手当・広告宣伝費等) △ 120百万円

またコロナ禍を起因とした当期特有の収入増加要因・支出削減策効果もあり、経常収支差額実績は前年比64百万円増加し、568百万円を計上することとなりました。

コロナ禍という激変した経営環境下であっても「財務の健全性」を維持することができた結果、「経常収支差額比率」は7.92%となり、中期経営計画の目標指数5.0%をクリアすることができました。

〈基本金組入前当年度収支差額〉

卒業生からの大口遺贈もあり、特別収支を加味した「基本金組入前当年度収支差額」の実績は前年比217百万円増の690百万円となりました。その結果「事業活動収支差額比率」は9.44%の高水準となりました。

〈当年度収支差額〉

基本金組入後の当年度収支差額は前年比352百万円増の467百万円となり、「収支均衡」を維持改善することができました。

資金収支計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位：百万円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	5,893	5,907	△ 14
手数料収入	186	114	72
寄付金収入	127	234	△ 107
補助金収入	767	796	△ 28
資産売却収入	104	104	0
付随事業・収益事業収入	10	17	△ 6
受取利息・配当金収入	5	5	△ 1
雑収入	139	149	△ 10
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,136	945	191
その他の収入	17,391	18,928	△ 1,537
資金収入調整勘定	△ 1,179	△ 1,260	80
前年度繰越支払資金	6,271	6,271	
収入の部合計	30,849	32,209	△ 1,360
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	4,011	3,847	163
教育研究経費支出	1,811	1,643	168
管理経費支出	546	461	85
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	139	138	1
設備関係支出	233	265	△ 32
資産運用支出	11,455	11,905	△ 450
その他の支出	6,776	7,892	△ 1,116
〔予備費〕	50		50
資金支出調整勘定	△ 160	△ 104	△ 56
翌年度繰越支払資金	5,987	6,162	△ 174
支出の部合計	30,849	32,209	△ 1,360

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：百万円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	27,112	26,605	507
有形固定資産	15,029	15,222	△ 193
特定資産	12,058	11,358	700
その他の固定資産	25	25	0
流動資産	7,055	6,991	64
資産の部合計	34,167	33,596	571
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,579	1,593	△ 13
流動負債	1,313	1,418	△ 105
負債の部合計	2,893	3,011	△ 118
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	34,486	34,264	222
繰越収支差額	△ 3,212	△ 3,679	467
純資産の部合計	31,274	30,584	690
負債及び純資産の部合計	34,167	33,596	571

〈特定資産〉

令和2年度の減価償却額685百万円に対し、「建物償却引当特定資産」に400百万円、「法人維持特定資産」に300百万円の計700百万円を将来に備えて積み増しました。

その結果、積立合計は「建物償却引当特定資産」が6,300百万円、「法人維持特定資産」が4,830百万円となり、合計で11,130百万円となりました。